

【教職員の回答】

	質 問	A	B	C	D	E
1	本校は、発達段階や児童生徒一人一人に応じた授業づくりに、熱心に取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	
2	本校は、道徳の授業時間を確保し、心を見つめさせたり生き方について考えさせたりする指導に努めている。	43%	57%	0%	0%	
3	本校は、児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向け努力するよう、キャリア教育に力を入れている。	86%	14%	0%	0%	
4	本校は、関係機関と連携をとったり、校内で情報を共有したりして、気になる児童生徒に十分な支援を行っている。	100%	0%	0%	0%	
5	本校は、児童生徒が郷土福井への関心を高めたり、大切に感じたりできる活動に十分取り組んでいる。	86%	14%	0%	0%	
6	本校は、スクールプランに基づき、目指す子どもの姿の実現に向けて協働して取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	
7	自分は、発問や問い返しを考えることで、子どもに柔軟に切り返すようにしている。	71%	29%	0%	0%	
8	自分は、児童が主体的に家庭学習に取り組めるような指導をしている。	57%	29%	14%	0%	
9	自分は、授業や児童会活動、体験活動などの中で、自ら考えて行動できるような場を作っている。	86%	14%	0%	0%	
10	自分は、学年に応じて、情報モラルやネット利用について指導し、児童の意識向上に努めている。	57%	43%	0%	0%	
11	自分は、児童が積極的に読書に取り組むような働きかけを行っている。	71%	29%	0%	0%	
12	自分は、児童が楽しいと感じられる活動を、工夫して行っている。	100%	0%	0%	0%	
13	自分は、教育方針や教育内容を保護者に理解してもらえるように、工夫して伝えている。	71%	29%	0%	0%	
14	自分は、不審者への対応や交通安全など安全面について適切に指導している。	86%	14%	0%	0%	
15	自分は、児童が進んであいさつや返事ができるように働きかけている。	57%	29%	14%	0%	
16	自分は、児童のよいところを伸ばす支援をしている。	86%	14%	0%	0%	
17	子どもたちの効果的な学びのために、PC・タブレットなどのICT機器を（1クラスあたり）どの程度使用しましたか。	86%	0%	0%	14%	0%

A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない

A ほぼ毎日 B 週3回以上 C 週1回以上 D 月1回以上 E 月1回未満

※本校は、評価の「よくあてはまる」のみをとらえて考察しています。

<成果>

・「自分にはよいところがある」と感じている児童は、年間を通して増えている。全教員で「発達段階や児童生徒一人一人に応じた授業づくり」に取り組んでいる成果のあわれである。

・全児童が「みんなで何かをするのは楽しい」と感じている。これは、すべての教員が「児童が楽しいと感じられる活動」を工夫している成果である。また、「わが子は、まわりの人と協力して一緒に活動する」と感じている保護者も年間を通して増えてきている。お互いを大切に思う子どもたちが育っている。

・「進んで読書をしている」児童は年間を通して増えており、半数がよくあてはまると感じている。また、「積極的に読書に取り組むような働きかけ」を行っている教員も増えており、学校での教員の取組が実を結んでいる。

<課題>

・児童や教員が感じているほどの読書活動に対する前向きの実感が、保護者から見た「わが子は、積極的に読書に取り組んでいる」様子としては感じられていない。家庭での読書活動にどのように取り組ませるかが課題である。

・受け身の学習から、自律学習への転換ができているかという意味では、「宿題の他に、進んで、勉強や自主学習をしている」児童や「わが子は、家庭学習(進んで勉強・自主学習)に取り組んでいる」と感じている保護者は少ない。教員の指導方法を工夫していく必要がある。

・「情報モラルやネット利用について指導し、児童の意識向上に努めている」ことや「効果的な学びのために、PC・タブレットなどのICT機器を使用している」ことについて、教員が年間を通して積極的に取り組むようになってきた。未だ、これらの成果が出ているとは言えないため、今後も取組を続けていく必要がある。

・保護者が学校教育の成果を実感できるような取組について、すべての教職員でよりいっそう工夫した取組を行いたい。